

# 平家文化と音楽

— 栄華を彩る雅楽の魅力 —

## 講演①

神戸女子大学教授  
神戸女子大学古典芸能研究センター長

樹下 文隆

「平家一門と厳島舞楽」

## 講演②

天王寺楽所雅亮会副理事長  
関西大学客員教授

小野 真龍

「平安時代における日本的「雅楽」の形成」

## 雅楽実演

『安元御賀記』に登場する楽曲の中から

平調万歳楽、双調賀殿急、高麗楽納曾利

などの演奏を予定しています

龍笛 中原 詳人 (天王寺楽所雅亮会理事・講師)

箏 高木 了慧 (天王寺楽所雅亮会・相愛大学講師)

鳳笙 林 絹代 (天王寺楽所雅亮会・相愛大学講師)

令和4年(2022)

日時 **9月11日(日)**  
**13:30-17:00** (受付 12:30 開始)

場所 神戸女子大学 三宮キャンパス  
教育センター5階 特別講義室

定員 **50** 名 / 事前申し込み制 / 入場無料  
申し込み方法は本チラシ裏面を御覧ください

〔協力〕神戸女子大学古典芸能センター

\*当日は古典芸能研究センターの展示室を見学していただけます。



## 趣旨文

安元二年（1176）三月、高倉天皇をはじめ文武百官が法住寺南殿に参集し、後白河院の五十の賀が行われた。三日間に及ぶ御賀では舞や蹴鞠、船楽などが催され、平家の隆盛とも重なって盛大な儀式であったという。そのなかでも特に、賀宴に花を添えたのが雅楽である。後年、平維盛が那智の沖に身を投げたという噂が都に入ってきたとき、ある女官が思い出したのは御賀での維盛による青海波の舞であった。同じく青海波を舞った光源氏に重ねて見ており、当時の高揚した雰囲気をつかむことができよう。

宴の様子はさまざまに記録されており、そのなかに『安元御賀記』<sup>あんげんおんがき</sup>という作品がある。著者である藤原隆房は、父隆季が後白河院の近臣、御賀の最高責任者という立場であり、自身も賀宴に加わっていた。しかしそれだけではなく、平清盛の娘婿でもあり、平家の栄華を支える重要な人物でもあった。そうした貴族によって記された『安元御賀記』は、平家滅亡後、一門追憶の物語へと展開する。

平安貴族の行事に雅楽はつきものであったが、現代の私たちにとっては馴染みがあるものとは言いがたい。今回、神戸女子大学古典芸能センターの協力を得て、小野真龍氏と天王寺楽所雅亮会の方々に、御賀で演奏された曲目を実演していただく機会を得た。『安元御賀記』の世界とともに、華やかな賀宴の様子を知る機会ともなれば幸いである。  
(佛教学部文学部准教授 浜畑圭吾)

## タイムテーブル

13:30 開会・趣旨説明（浜畑 圭吾）

13:40 講演①  
樹下 文隆「平家一門と巖島舞楽」

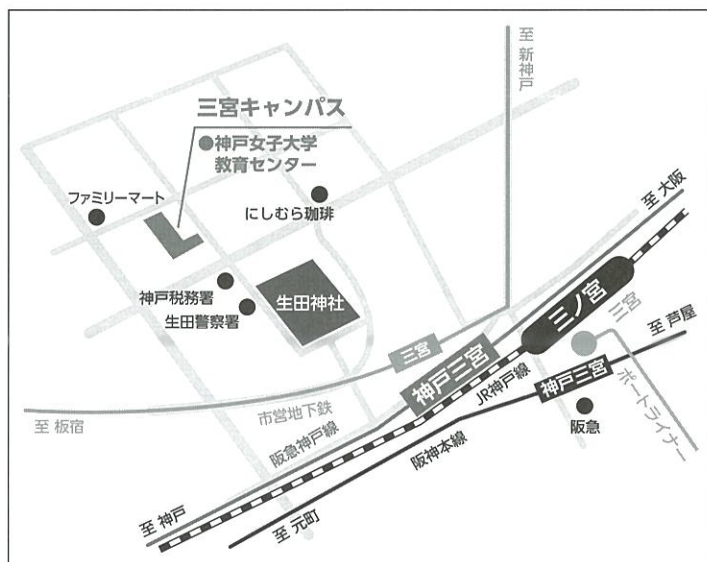
15:00 講演②  
小野 真龍  
「平安時代における日本的「雅楽」の形成」  
\* 講演の中で雅楽の実演を行ないます。

16:30 質疑応答

17:00 閉会

## アクセス

### 神戸女子大学三宮キャンパス教育センター



JR 三ノ宮駅、阪急・阪神 神戸三宮駅、神戸市営地下鉄三宮駅より北へ徒歩約15分◎車でのご来場はお断りします

## 申込方法

- ◆氏名・住所・電話番号を明記の上、8月25日（木）必着で、下記宛先へ、往復はがきでお申し込み下さい（1枚につき1名のみ）。
- ◆受講者には、締め切り後、受講票をお送りします。
- ◆往復はがき以外での申し込みはお断りします。
- ◆定員を超えた場合は抽選をいたします。落選の場合もその旨はがきでご連絡いたします。

【お申し込み先】〒654-8585 神戸市須磨区東須磨青山2-1

神戸女子大学文学部日本語日本文学科 北山円正研究室 行

※いただいた個人情報は、本会のご案内以外には使用しません。